

令和5年度

肢体不自由教育部門

中学部

第3学年

④学習グループ

年間指導計画

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	中学部	学年	1・2・3年	
教科等名	総合的な学習の時間			学習グループ	④	
ねらい	(1) 必要なこと、興味・関心のあること等を調べる方法を習得する。 (2) 相手の意見を受け入れたり、考えたことを分かりやすく伝えたりできる。 (3) 新しいことに興味をもち、自ら調べたり取り組んだりすることができる。					
担当教員	近藤 中村 木村 磯部			年間授業時数	35 時間	
使用教科書						
主な指導の工夫	(1) 日常生活の中での題材を設定し、主体性を伸ばすようにする。 (2) ICT機器を活用し、生徒たちの自主的な活動を補助する。 (3) 実質的な活動で知識や技術を身に付けられるようにする。					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4	仲間を知ろう	3	◆ 同じ学習グループとして、協力しあう関係の基礎を作る。			
5			◇ 自己紹介をする。 新入生からの質問に先輩が答える。			○
6	お米作り  調べ学習(学校の給食について調べよう)	12	◆ 米づくりを通して、「米」について幅広く知り、よさや大切さに気付き、様々な食文化や食生活に関心をもち考えることができる。			
7			◇ 田植え、観察、稲刈り等の体験を行う。		○	
9			◇ ICT機器を使用し、米づくりについて情報を収集する。また、その情報を整理し、まとめる。	○		
10		11	◆ 一日の献立ができるまで、どれぐらいの人数の人が関わっているか、様々な仕事について知る。			
11			◇ 栄養士さんや給食室で働く人にインタビューする。			○
12			◇ グループごとにパワーポイントにまとめて、発表する。	○		
1	進路学習に向けて	8	◆ 進路学習に向けて見通しをもち、計画的に進める。			
2			◇ 働くことの意味や様々な職業について調べたり、考えたりする。	○		
3			◇ 活動に合わせた準備、練習を行う。		○	

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	中学部	学年	1・2・3年	
教科等名	国語・数学			学習グループ	④	
ねらい	(1)日常生活に必要な国語力・数学力を身に付ける。 (2)人とのかかわりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。 (3)身の回りにある数や形に興味をもち、日常に生かそうとする。					
担当教員	中村美和 川田夏生 近藤唯 磯部知史			年間授業時数	175 時間	
使用教科書	1年 東書「国語☆☆☆☆」教出「数学☆☆☆☆」 2年 東書「国語☆☆☆☆」教出「数学☆☆☆☆」 3年 講談社「おじさんのかさ」 戸田デザイン教室「とけいのえほん」					
主な指導の工夫	(1)繰り返して学習できるようにして、理解の定着をはかる。 (2)身近な物の絵や写真を手がかりにして、文字や数量を扱う学習を行う。 (3)具体的な場面を設定して、イメージしやすくする。					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
通年	個別の課題	105	◆ 個々の課題に沿った言葉や数の理解、計算ができるようになる。 ◇ ひらがな・漢字・絵本読み・計算・パズル、ローマ字など	○		
4	敬語の使い方	6	◆ 公の場での言葉遣いについて知り、場面に応じて使うことができる。 ◇ 丁寧語、尊敬語、謙譲語 ◇ 相手に伝わるように練習する。	○		○
5	長さと重さ	6	◆ 長短や重さの概念を理解し区別する。 ◇ 長短の測定 ◇ 重い・軽いとはかりの使い方	○		○
6	ニュース調べ	7	◆ 新聞やインターネットでニュースを調べ、自分の言葉で表現できる。 ◇ 「いつ」「どこで」「だれが」「何をした」を短い言葉でまとめる。 ◇ 伝えたいことをはっきりさせて書く。		○	○
7	図形	6	◆ 図形の特徴に気付き、理解できる。 ◇ 形の弁別、形の性質 ◇ 平面と立体	○		○

月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
9	広さと量	8	◆ 広さと量の概念を理解して区別することができる ◇ 広さ比べ、単位 ◇ かさ比べ、単位		○ ○	
10	取材して伝えよう	8	◆ 伝えたいことをはっきりさせて質問できる ◇ インタビューをして、聞いたことをメモする ◇ 取材した内容を発表する。		○	○
11	時刻と時間	7	◆ 簡単な時計の読み方や時間を理解できる。 ◆ 簡単な時間の計算ができる。 ◇ 時間と時刻 ◇ 時間の計算の学習	○	○	
12	年賀状を書こう	4	◆ 相手への気持ちを言葉で表現できる。 ◇ 相手に応じた書式や言葉遣いを用いる。 ◇ はがきの書き方	○	○	
1	書道	6	◆ 自分の名前や好きな言葉を、毛筆で書くことができる。 ◇ 毛筆のための道具の使い方を知る。 ◇ 気持ちを込めて毛筆で書く。	○	○	
2	金銭	7	◆ 金銭について、身の周りの生活と結び付けて考えられる。 ◇ 硬貨・紙幣の種類 ◇ 買い物のやり方・マナー ◇ 代金とおつり	○ ○		○
3	文章を書いて伝えよう	5	◆ 自分の気持ちを、相手や場面に応じた言葉遣いで書き表すことができる。 ◇ 相手に応じたメッセージや言葉遣いを用いる。		○	

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体(本校)	学部	中学部	学年	第1・2・3年	
教科等名	音楽			学習グループ	④	
ねらい	(1) いろいろな音楽の音色などに関心をもって聴く。 (2) 音楽を聴いて感じたことを表現したり、リズムに合わせて身体表現したりする。 (3) 打楽器や旋律楽器などを使って、自由に演奏したり、合奏や独奏をしたりする。					
担当教員	隈元友香 磯部知史 木村夏生 近藤唯			年間授業時数	35 時間	
使用教科書	東書 音楽☆☆☆☆ 音楽☆☆☆☆☆					
主な指導の工夫	(1) 生徒が馴染みのある楽曲や歌いやすいテンポで活動を行う。 (2) 楽器を使用する際は、演奏しやすい楽器や器具を用いる。 (3) 生徒の実態に合わせて、色楽譜やリズム譜等を作成して合奏する。					
月	単元(題材)名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
通年	始まりの歌 終わりの歌	1	◆ 活動の始まりと終わりを意識する。			
			◇ 気持ちを落ち着けて楽器や身体で表現する。			○
4	「花」を鑑賞しよう	3	◆ 歌詞の内容について理解を深める。			
			◇ 歌詞を読んだり写真を見たりして、表現されている内容を理解する。	○		
5	太鼓とシンバルで合奏しよう	4	◆ アイコンタクトや掛け声で、友達と息を合わせて打楽器を鳴らす。			
			◇ 友達とペアを組み、太鼓やシンバルを鳴らす。		○	
6 7	「サンタ・ルチア」を歌おう	6	◆ 波の音や三拍子の揺れを感じ取る。			
			◇ 拍子をとりながら、「サンタルチア」を歌ったりオーシャンドラムを鳴らしたりする。		○	
9 10	ジャズを鑑賞しよう	7	◆ ジャズの代表曲を鑑賞し、スイングのリズムを表現する。			
			◇ 「枯葉」「A列車で行こう」を鑑賞する。			○
			◇ ジャズの曲に合わせて、スネアドラムやシンバルを鳴らす。		○	

月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
11 12 1 2	合奏しよう	12	◆ 自分で楽器を選んで、友達と合奏する。  ◇ やりたい楽器を選び、パート練習や全体練習を重ねる。			
3	卒業式の歌を歌おう	3	◆ 音楽を通じて行事を意識する。  ◇ 歌詞の意味を考えながら、「すてきな友達」を歌う。	○		

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	中学部	学年	第1・2・3年	
教科等名	美術			学習グループ	④	
ねらい	(1) テーマや素材などから発想を広げて自分らしい作品を作ることができる。 (2) 様々な素材や道具を扱って造形的な面白さを感じ取り、創作ができる。 (3) 自分や友達の作品について鑑賞したり、発表したりすることができる。					
担当教員	磯部知史 近藤唯 木村夏生 中村美和			年間授業時数	70 時間	
使用教科書	「にじいろカメレオン」講談社（1年） UD絵本ユニバーサル絵本5「なないろのクラ」（2・3年）					
主な指導の工夫	(1) 手の操作性に合わせた、用具を工夫する。 (2) 紙、木、粘土、落ち葉など様々な素材を取り入れて制作する。 (3) 身近にある作品を紹介し、美術に親しみをもてるようにする。					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
通年	作品鑑賞	—	◆ 日本や世界の美術作品を鑑賞し、美術の歴史や文化について学ぶ。  ◇ 美術動画や写真を鑑賞し、選んだり話し合ったりしながら理解を深める。	○	○	○
4 5 6	版画制作	21	◆ 版画技法を用い、線や形を意識しながら、制作することができる。  ◇ アルミ箔や紐、自然の葉や草など様々な材料を扱って版を作る。プレス機を使って線や形が浮き出るようにする。  ◇ 版にインクを付け、ローラーやバレン、プレス機を使って模様を表現する。	○	○	○
7 9	キャンドル制作	15	◆ 制作工程に見通しをもち、表現したい色を選んで制作することができる。  ◇ 映像や手本を提示しながら制作工程を知り、自分で表現したい色を作って制作する。	○	○	○

月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
10 11 12 1	季節や行事に応じた制作	24	◆ 身近な季節や行事を知り、制作することができる。  ◇ 秋や冬の季節に関連したものや、墨東祭に向けた制作をする。			
2 3	卒業制作	10	◆ 卒業を意識して様々な材料や道具を使って制作することができる。  ◇ 卒業に関連したものを提示して、イメージを膨らませながら制作する。	○	○	○

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度



令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	中学部	学年	1・2・3年	
教科等名	保健体育			学習グループ	④	
ねらい	(1) 積極的に身体を動かすとともに、日常的に運動を行う意欲を育む。 (2) 様々な身体の使い方を体験的に学び、動きを工夫する。 (3) 友達と協力しながら活動する。					
担当教員	近藤唯 中村美和 磯部知史 木村夏生			年間授業時数	35 時間	
使用教科書	あかね書房「からだのえほん4 からだにももしし」					
主な指導の工夫	(1) 単元の最初では、補助具や難易度をスモールステップで変更していく。 (2) ルールを簡潔化し、分かりやすい課題設定で競技を行う。 (3) 集団ゲームとして、友達と協力場面、競い合う場面を設定する。					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
通年	体づくり運動		◆ 授業の見通しをもつ。 ◇ ルール確認、本時について ◇ 集合、整列、準備運動		○	○
4 5 6	陸上競技 保健「運動やスポーツが心身の発達に与える効果と安全」	10	◆ 活動を楽しみながら身体を動かす。 ◇ 体育祭競技、集団行動 ◇ 運動やスポーツが心身に及ぼす効果を知る。	○	○	○
7 9	水泳	6	◆ 水の浮力でリラクゼーション図る。 ◇ 水慣れ、浮き身			○
10 11	球技 ボールゲーム	9	◆ 打ちやすい打ち方を工夫し、ボールを打つ。 ◇ 基礎練習・試合		○	
12	保健「心身の機能の発達と心の健康」	2	◇ 生殖機能の成熟	○		
			◆ 生殖機能の成熟について理解することができる。			
1 2	モルック	8	◆ ルールを理解し、協力してゲームを行う。 ◇ 投球練習・ゲーム			○
3	保健「傷害の防止」	1	◆ 事故や災害の状況について考える。 ◇ 交通事故の危険予測と回避、自然災害による危険	○		

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	中学部	学年	1・2・3年	
教科等名	外国語			学習グループ	④	
ねらい	(1)アルファベットや数字、身近なものの単語や簡単な会話を学ぶ。 (2)外国語で挨拶や自分の状態や考え、気持ち等を伝え合う力の素地を養う。 (3)外国語やその背景にある文化について体験的に理解する。					
担当教員	中村 美和			年間授業時数	35 時間	
使用教科書	「五味太郎のことばと数の絵本 絵本ABC」岩崎書店 「CDつき英語カード あいさつと話しことば編」くもん出版 「CD付き 楽しく歌える英語のうた」成美堂					
主な指導の工夫	(1)毎回の授業の中で挨拶をする時間を設け、英語に親しみをもつ。 (2)身近なものを題材とした単語を取り入れていく。 (3)日常使える会話を様々な形で、繰り返し練習していく。					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
年間	ALT	6	◆ コミュニケーションを取ろうとする態度を育成し、技能の向上を図る。  ◇ 英語の歌、ゲーム等			○
4 5	アルファベットを学ぼう	7	◆ アルファベットの大文字、小文字とその読み方を一致させ形や書き方を知る。  ◇ A～Zのフォニックス ◇ 名前をローマ字で書く ◇ アルファベットを使ったゲーム	○	○	○
6 7	世界を知ろう	5	◆ 外国の国旗や文化など、クイズを出したり答えたりする。  ◇ 国旗カードを用いたクイズ作り ◇ クイズ大会での質問と答え		○	○
9	学校を案内しよう	4	◆ Go、Stop、Turnなどの動詞を使い、英語での指示を理解する。  ◇ 英語の指示を聞いて物を探す。 ◇ Where is ～？で校内を案内する	○	○	

月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
10	外国の文化を体験しよう	3	◆ ハロウィン等の行事に関連する活動を行い、外国の文化に親しむ。 ◇ 行事に関連する単語でゲーム等をする。 ◇ 仮装等、外国の文化を体験する。			
11 12	色、形、数	5	◆ 自分の好きな色や形を選んで英語で発音することができる ◇ 色と形、数に関連する単語を学習する。 ◇ 色と形を使って造形する。			
1 2	英語の文章を聞き取ろう	3	◆ 世界中でよく知られる物語にふれる。 ◇ 簡単な物語を日本語を交えて聞き、内容を理解する			
3	1年間の復習をしよう	3	◆ 1年間の学習を振り返り、英語に親しみをもつと共に、知識を定着させる。 ◇ 1年間の復習			

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体(本校)	学部	中学部	学年	第3年	
教科等名	特別活動			学習グループ		
ねらい	(1) 自分の役割を意識し、学習したことを発揮することができる。 (2) 集団の中で相手の気持ちを受け止めたり、自分の気持ちを自分なりの表現で伝えたりすることができる。 (3) 友達と協力し助け合い、人間関係を育み、集団生活の充実を図る。					
担当教員	牧理 柳堀拓也 相田多恵 磯部知史 近藤唯 並木美由紀			年間授業時数	35 時間	
使用教科書	なし					
主な指導の工夫	(1) 写真やDVDなど視覚教材を利用し、興味・関心をもてるようにする。 (2) 学習グループを超えてコミュニケーションをとれるようにする。 (3) 友達を意識して発表したり、考えたり、一緒にできる活動を取り上げる。					
月	単元(題材)名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4	オリエンテーション	1	◆ 3年生の主な行事について知り、1年間の見通しをもつ。 ◇ 3年生の主な行事とその活動内容を知る。	○		
	新入生歓迎会	2	◆ 新入生歓迎会の準備を行い、1年生を温かく迎える。 ◇ 活動内容について意見を出し合い、協力して準備をする。			○
5	卒業制作①	2	◆ 卒業制作として何を作るか話し合い、思い出を形にする。 ◇ 卒業制作の内容とデザインについて考え、制作する。		○	○
	体育祭	3	◆ 体育祭に見通しをもち、参加する。 ◇ 体育祭の競技種目を知り、お互いに励まし合い、練習する。			○
6	修学旅行について①	3	◆ 修学旅行について主な行程を知り、見通しをもつ。 ◇ スライド教材を見て、日程や行程について確認する。			
7				○		
7	1学期を振り返って	1	◆ 1学期を振り返り、お互いに頑張ったことを発表し合うことができる。 ◇ 1学期を振り返り、頑張ったことを発表する。		○	

月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
9	2学期の予定	1	◆ 2学期の行事予定を知り、見通しをもつ。 ◇ 2学期の主な行事予定を確認する。	○		
	修学旅行について②	4	◆ 修学旅行について各自の目標や係を決め主体的に参加する。 ◇ 係活動について事前準備をする。 ◇ 頑張ったことなどを発表する。		○	○
10	卒業制作②	2	◆ 友達と一緒に卒業制作を行い、思い出を形にする。 ◇ 卒業制作を行う。		○	○
11	墨東祭について	8	◆ 墨東祭の発表内容を協力して考え、日頃の学習の成果を発揮する。 ◇ 墨東祭の発表内容を協力して考える。 ◇ 発表の練習をする。 ◇ 小道具や背景などを作成する。		○	○
			◇ 墨東祭を振り返り、来年につなげる。		○	○
12	2学期を振り返って	1	◆ 2学期を振り返り、頑張ったことについてお互いを意識して発表し合うことができる。 ◇ 2学期を振り返り、頑張ったことを発表する。		○	
1	3学期の予定	1	◆ 3学期の行事予定を知り、見通しをもつ。 ◇ 3学期の主な行事予定を確認する。	○		
	高等部での生活について	2	◆ 卒業後の生活について見通しをもつ。 ◇ 高等部での生活について、写真等を見て知る。	○		
2	卒業に向けて	3	◆ 答辞、証書授与の練習を通じて、卒業への意識を高めることができる。 ◇ 答辞を考え、練習をする。		○	○
3	3年間で振り返って	1	◇ 証書授与の練習をする。		○	
◆ 画像等を使って、中学部での生活を振り返ることができる。 ◇ 3年間で振り返って、3年間頑張ったことを考え、発表する。				○		
※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度						

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	中学部	学年	1・2・3年	
教科等名	自立活動			学習グループ	④	
ねらい	(1) 体調を安定させ、心身の健康を保つ。 (2) 身近な人との良好な関係を作り、集団の中のルールやマナーを学ぶ。 (3) 運動機能や言語活動などのそれぞれの課題に取り組み、日常生活に生かす。					
担当教員	木村夏生 近藤唯 磯部知史 中村美和			年間授業時数	210 時間	
使用教科書	なし					
主な指導の工夫	(1) 保護者や教員、様々な部門との連携を図る。 (2) 実態に即した課題や教材を設定する。 (3) 活動しやすい教室環境を整える。					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
通 年	グループ活動	70	◆ 一日の活動の始まりと終わりを意識し、一日の活動に見通しをもつ。 ◇ 係活動（日直、清掃など） ◇ 健康観察（体温測定、健康カード） ◇ 朝の会（日付、予定の確認など） ◇ 帰りの会（一日の振り返り）			○
	課題別学習	70	◆ それぞれの課題に取り組み、言葉や数の力を伸ばす。 ◇ 個別学習（言葉や数に関すること、選択、物のやりとり、操作性、発声、模倣、コミュニケーションに関する事など）	○		
	特設自立活動	70	◆ 身体の取り組みや健康に関する事などに取り組み、日常生活に生かす。 ◇ 水分摂取、排せつに関する事 ◇ 特設自立活動（感覚への働きかけ、移動に関する事など） ◇ 身体の取り組み（リラクゼーション、ストレッチ、姿勢変換、移動に関する事など）		○	○

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体(本校)	学部	中学部	学年	1・2・3年												
教科等名	日常生活の指導			学習グループ	④												
ねらい	(1) 自分でできることを増やし、身辺自立に向けて取り組む。 (2) 挨拶や身辺整理など、日常生活のより良い習慣を身に付ける。 (3) 集団の中のルールやマナーを学び、友達と良好な関係を作る。																
担当教員	川田夏生 中村美和 磯部知史 近藤唯			年間授業時数	105	時間											
使用教科書	なし																
主な指導の工夫	(1) 生徒の事態に合わせた指導方法や手順を工夫し分かりやすく示す。 (2) 活動しやすい環境を整備する。 (3) 生徒の主体的な活動や意欲を引き出し、支援を最小限にする。																
月	単元(題材)名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点			教科の位置づけ										
				知識	思考	態度	国	社	数	理	音	美	体	技	外		
通年	荷物整理	10	◆ 自分の荷物を整理し、管理する。 ◇ 上着や連絡帳、提出物などを所定の場所に片付ける。		○												
	健康管理	10	◆ 自分の健康について意識を高める。 ◇ 検温や手洗いをし健康への意識をもてるようにする。	○													
	清潔	10	◆ 自分の身体や身の回りの物を清潔に保ち、快適に生活することを学ぶ。 ◇ 手洗いの励行、食後の歯磨きの言葉掛けや、洗濯物の分別などを行う。			○											
	排せつ	20	◆ 一日の活動の流れの中で、トイレに行く時間を調整する。 ◇ 授業予定を確認して、時間を決める。必要な支援を依頼する。		○			○									
	係活動	35	◆ 自分の役割に責任をもって主体的に活動する。 ◇ 日直などの係を分担し、それぞれに合った方法で取り組む。発表する場面を設け、集団の中の役割を意識する。		○			○									
	授業準備、片付け	10	◆ 授業などの活動に主体的に参加する。 ◇ 授業の始まりに合わせて、必要なものを準備し、席に着くことを習慣にする。			○		○									
	余暇活動 コミュニケーション	10	◆ 自分のやりたいことを選んだり探したりする力や、状況を読み取ること、相手に合わせたコミュニケーションの力を身に付ける。 ◇ 自由時間の過ごし方を自分で決めたり、相談したりして決める。ルールやマナーについて確認する。			○		○									

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度





月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点			教科の位置づけ									
				知識	思考	態度	国	社	数	理	音	美	体	技家	外	
10 11	健康な心・健康な身体について	4	◆ 心と身体が健康になるために必要なことを知る。 ◇ 食事、休養など自分の健康を保つために必要なことについて学ぶ。 ◇ がんに対する知識について知る。													
9 10 11 12	季節を感じよう ～秋・冬～	39	◆ 秋・冬に関する物や音楽などに触れ、季節を感じるができる。 ◇ 秋・冬に関する音や歌などを聞いたり、季節に関連した制作をしたりする。 ◇ 校内や近隣の落ち葉などを使った制作活動をする。													
11 12	墨東祭へ向けて	10	◆ 発表の練習や小道具の制作などを通して、墨東祭に見通しをもつ。 ◇ 発表の練習をする。 ◇ 小道具や背景などを制作する。													
1 2 3	日本の文化に触れよう (墨東レガシー)	11	◆ 書き初めや正月遊びを通して、日本の伝統を体験する。 ◇ 書き初めを体験する。 ◇ 昔の正月遊びを体験する。													
	一年間のまとめ 卒業制作	21	◆ 一年間の学習を振り返り卒業に向けて意識を高め、発表したり制作物をつくったりすることができる。 ◇ 用紙や掲示物にまとめる。 ◇ 卒業に向けた制作物をつくる。													
通 年	買い物学習 (消費者教育)	—	◆ 買い物学習を通して、生活経験を積み重ねる。 ◇ 疑似体験やお店での買い物を通して方法や流れを知る。													
	地域を知ろう (図書館の利用、信号機 や横断歩道の確認、公園 などの校外活動)	—	◆ 地域の公共施設や公園等を利用して、地域を知りながら活動する。 ◇ 公共施設のマナーや利用方法を守って活動できる。 ◇ 調べ学習や体験的な学習などを通して、地域を知りながら活動することができる。													

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体(本校)	学部	中学部	学年	第	第1・2・3年											
教科等名	作業学習			学習グループ	④												
ねらい	(1) 作業工程や指示を理解し、見通しを持って主体的に取り組む力を養う。 (2) 一定時間、集中して作業的活動に取り組む力を養う。 (3) 作業に関連した体験学習を通じて、自立と社会参加への基礎を養う。																
担当教員	木村夏生 磯部知史 近藤唯 中村美和			年間授業時数	140	時間											
使用教科書	なし																
主な指導の工夫	(1) 写真やイラストを使った分かりやすい工程表を作成して提示する。 (2) タイマーや時計を活用して、時間を意識して取り組めるようにする。 (3) 出来高表などを作成し、達成感や意欲を高められるようにする。																
月	単元(題材)名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点			教科の位置づけ										
				知識	思考	態度	国	社	数	理	音	美	体	技家	外		
4	清掃活動	20	◆ 掃除用具の扱い方を学ぶことができる。														
5			◇ 掃除道具を使い、校内を清掃する。	○			○	○			○						
6			◇ 分業で協力して取り組む。			○	○					○					
7	紙のリサイクル	20	◆ 各工程の手順を理解することができる。														
			◇ 裏紙の仕分けやシュレッダーを行う。			○		○			○						
			◇ 製品作りの計画や制作。		○		○		○						○		
9	清掃活動	25	◆ 自主的に取り組むことができる。														
10			◇ 図書コーナーや特別教室の清掃を行う。	○			○	○			○						
11			◇ グループで協力し合って取り組む。			○	○					○					
12	紙のリサイクル	25	◆ 各工程を丁寧に取り組むことができる。														
			◇ 裏紙切りやはんこ押し。			○		○			○						
			◇ 製品制作(コースター作り)	○		○		○							○		
1	清掃活動	20	◆ 目標を立てて達成することができる。														
2			◇ 掃除道具の手入れの仕方を学ぶ。	○			○	○			○						
3			◇ 掃除する個所をグループで考える。			○	○					○					
	紙のリサイクル	20	◆ 製品を使う相手を考えて作業する。														
			◇ 裏紙の仕分けやメモ帳作りなどを行う。 ◇ 製品制作や検品。	○		○		○			○				○		
	ビジネスマナー	10	◆ ビジネスマナーを身に付ける。														
			◇ 身だしなみを整える。	○			○										
			◇ 場に相応しい言葉遣いをする。		○		○										

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度